

廿日市の地域福祉実践の記録と市民啓発 シンポジウムの開催

NPO法人 ふくし文化塾はつかいち

〒738-0014 広島県廿日市市住吉2丁目7-3 さくら亭・住吉

助成事業の概要

本事業は、広島県廿日市における市民による福祉のまちづくりの取り組みについて、主要な団体やキーパーソンにインタビューし報告書にまとめるとともに、市民への啓発シンポジウム等を開催することで、取り組みを次世代に継承し、福祉のまちづくりの一層の活性化ならびに人材発掘に資することを目的として実施しました。

福祉活動の取り組みについての調査は、平成28年8月から調査を開始し、4回現地を訪問してヒアリングを行いました。これらを踏まえ、廿日市市における福祉活動の歴史の流れ及び主な団体の活動を報告書としてまとめました。

また、平成30年8月10日に、廿日市市及び市社会福祉協議会との共催により、市制30周年記念「廿日市市の福祉～未来を語る」シンポジウムを開催しました。

事業の成果

事業では、廿日市市民による福祉活動の取り組みの歴史について報告書にまとめることができました。もし今の時期にまとめていなければ、記録が散逸してしまったり、関係者が亡くなってしまうなどによって、市民の方々の努力を記録に残すことは困難になっていたと思われます。

まとめた研究の成果は去る8月10日に開催した「廿日市市の福祉～未来を語る」において報告しました。このシンポジウムには廿日市の地域を担う市民の方々、社会福祉協議会や行政の職員等、

多くの方々（約160人）が参加してくれました。今後より多くの方々に読んでいただき、これからの廿日市の福祉を皆でつくっていくために、少しでも役立てていただきたいと思います。

成果の広報、公表

報告書は、600部印刷し、現在のところ次の団体等に配布しました。

広島県社会福祉協議会／全国社会福祉協議会各部／県内市町社会福祉協議会／廿日市市／山口県社会福祉協議会／シンポジウム来場者（約160人）／社協役員 などの外に

社会福祉研究者（阿部志郎、山崎美貴子、和田敏明、市川一宏、原田正樹、上野谷加代子、松原康雄、新保美香、奥西栄介、金井 敏、大橋謙策、白澤政和、小林雅彦、中島 修、山崎康彦）／ヒヤリング協力者／編集協力者（廿日市市社会福祉協議会元職員）／廿日市市社会福祉協議会職員／市内主要ボランティアグループ はじめ約300部配布しました。

今後の展開

報告書は、市民向けの研修、社協や市役所職員の研修等で活用していきます。

また、今回のとりあげた団体や地域は、必ずしも廿日市の全域を網羅するものとはならなかったため、今後、他の地域等の団体等への調査の実施について検討してまいります。